

○行田市総合体育館メインアリーナ等空調設備設置工事請負契約の締結について

行田市総合体育館メインアリーナ及びサブアリーナに空調設備を設置するため、機器の新設及び配管や電気設備など必要な工事を行うものです。

○消防ポンプ自動車の取得について
災害発生時の消火活動等に対応する消防団車両として、南部第6分団及び南部第7分団に配備している現在の車両は平成18年度に購入したものであり、購入から18年が経過し老朽化していることから、車両を更新し、配備するものです。



補正予算

補正総額

1億1417万円余

(原案可決)

行田市基本構想の重点施策の一つであるこどもまんなかによる子育て

支援の充実のほか、当初予算計上後の事情変更に伴う所要経費など、必要な予算について計上したものです。

歳出の主なものとして、民生費では、(仮称)さきたま古墳公園広場子どもの遊び場事業において、民間のノウハウを活用し、効果的かつ効率的な整備手法の検討などを行い、事業構想の策定等を実施します。



さきたま古墳公園広場

また、いわゆる小1の壁に対応するため、平日の朝に小学校で子どもを預かる「朝のこどもの居場所づくり」を、県のモデル事業として忍小学校において実施します。

衛生費では、粗大ごみを破砕機へ送るための設備の著しい劣化が確認されたことから、部品交換等を行うための経費を措置します。

商工費では、クビアカツヤカミキリによる被害が深刻な武蔵水路沿いの桜を復活するための足がかりとし

て、クラウドファンディング型ふるさと納税等を活用し、苗木の植樹などを行う「よみがえれ！行田の桜プロジェクト」を実施します。

教育費では、令和8年度に控える日本遺産認定継続審査に向けて、街なか日本遺産をPRするタペストリーや横断幕等を掲げ、さらなる機運の醸成を図ります。

また、総合体育館の非常用発電設備の故障に伴い、指定避難所でもあることから改修工事を早急に実施します。なお、これらの歳出を賄う財源として、国・県支出金、繰越金、諸収入及び市債により措置するものです。



【主な質疑】

問 朝のこどもの居場所づくり事業委託料において、朝食の提供は行わないのか。

答 本事業は、朝の小1の壁の課題を解消することを目的とするものであり、食事の提供の予定はない。

問 預けられた子どもたちは、その時間帯をどのように過ごすのか。

答 児童の見守り員2名を配置し、その中で読書や自習などをして過ごすことを想定している。

問 観光費の「よみがえれ！行田の桜プロジェクト」について、当初予算の弓道場活用事業にて予定していた弓道場の整備はどうなるのか。

答 令和7年度の予算編成において、クラウドファンディング型ふるさと納税及び企業版ふるさと納税を活用し、弓道場利用の空き時間を有効活用してミニコンサート等が開催できる演芸場の整備を計画していた。しかし、春の桜の開花状況を確認したところ、あまりにも花が咲いていない桜が多く、市として早急に対策を強化すべきであると判断し、予算を組み替えるものである。弓道場については、安土、門扉などの改修及び夜間練習時等の照明設備の設置については、当初の計画どおり実施する。



武蔵水路沿いの桜